

99 創価大学ニュース **2018** Autumn



特集1 SDGs意識調査アンケート

Special Feature 1: SDGs Awareness Survey

創大生・短大生に聞きました

あなたは SDGS & 知っていますか

29%

【調査概要】

調査方法:学生ポータルサイト「PLAS」 調査対象:創価大学・創価女子短期大学の学生 調查期間:創価大学 2018年8月29日~9月14日 創価女子短期大学 2018年9月13日~21日 有効回答数:192

知っている

71%

2018年2月に行われた調査(電通「SDGsに 関する生活者調査」)でのSDGsの認知率 は、14.8%と発表されています。世代別では 10代男性16% • 女性10%、20代男性 32%・女性9%という結果です。

SDGsで意識していること

●17の目標の中で最も多くの共感を 集めた目標は以下の4つでした!

・目標6:安全な水とトイレを世界中に

・目標11: 住み続けられるまちづくりを

・目標13: 気候変動に具体的な対策を

・目標16: 平和と公正をすべての人に

●意識調査で回答のあった「ささやかながら行動していること」を ピックアップして紹介します!

n=192

- ・自分より上の世代の人、留学生、自分と異なるジェンダーの人との会話を大事にして、 日頃から意見交換する。特に、身近な両親との意見の違いを大切にしている
- ・毎日の節電節水やゴミの分別を徹底的に行っている。エアコンの設定温度は 環境省の推奨する温度を守っている
- ・ペットボトルを買わずに水筒を持ち歩く
- ・友人を自宅に招いて、夕食を振る舞い、その際に食・健康の重要性を伝えている

● SDGs について感じていることベスト3!

1位 今後、世界的に重要になってくると思う

日本はSDGsにもっと積極的に 取り組むべきである

SDGsについて授業で もっと取りあげてほしい



杉山 由紀男 教授

いに評価できます。また本学の創立者が平和提言 の中で、SDGs採択以降毎年これに言及しているこ とも全般的な意識の高さにつながっているように 思います。



数字で知るSDGs

2001年に定められたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継の国際目標として、2015年9月の国連サミットで新たに持続可能な開発目 標 (SDGs: Sustainable Development Goals) が示されました。 **誰一人として取り残さない (leave no one behind)** との理念を 掲げ、様々な課題に各国政府、市民社会などが主体となって取り組み、目標の達成を目指しています。

世界を変えるための17の目標





























12 つくる責任 つかう責任



ミレニアム開発目標(MDGs)の達成状況をふまえ、気候変動や不 平等、技術革新、持続可能な経済活動、平和と公正などの分野を 優先課題として加えています。17の目標は互いに関連付けられる ものが多くあり、一つの取り組みが複数の目標に寄与することがあ ります。

「国連持続可能な開発サミット」で採択され たSDGsは、2015年から向こう15年の2030 年を目指した持続可能な開発のための目 標です。

17の目標には、169のターゲットが定められ ています。17の各目標に対して5~20程度の 具体的な目標が掲げられています。

地球の今、知っていますか??

地球の気温上昇抑制



2015年12月パリで開かれた「国連気候変動枠組条約締約国会 議」で温室効果ガス削減に関するパリ協定が合意されました。長期 目標として「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃よ り十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」ことを定めています。

ペットボトルの過剰消費抑制



世界中で消費されているペットボトルの本数が、2016年のレポートで年 間消費量が4.800億本になり、毎分約100万本が消費されている計算に なります。



Special Feature 2: SDGs Special Interview between Yoshimoto Kogyo Co., Ltd. Corporate Communications Division Producer Takayuki Oinuma, and University President Yoshihisa Baba

私たちにできること

吉本興業のSDGs、創価大学のSDGs

今、様々な団体が協力しながら、SDGsに向かって取り組んでいます。SDGsの目標達成に向けて私たちには何ができるのか。 SDGsに積極的に取り組む吉本興業と創価大学、それぞれの取り組みについて語っていただきました。対談は、東京都新宿区に ある旧四谷第五小学校をそのまま活用した吉本興業東京本部で行われました。



創価大学 学長

馬場 善久

Yoshihisa Baba

Profile

1953年富山県生まれ。創価大学経済学部卒、カリ フォルニア大学サンディエゴ校経済学研究科博士 課程修了。Ph.D.取得。専門は計量経済学。創価 大学経済学部講師、助教授を経て、教授となる。教 務部長、副学長を経て、2013年 学長に就任。

コーポレートコミュニケーション本部 プロデューサー

Profile

1975年東京都生まれ。創価中学・高等学校を経て創価大学 経営学部を1998年に卒業。同年に吉本興業に入社、マネジ メントや番組制作を経て、現在はコーポレートコミュニケーショ ン本部にてSDGsの取り組みの推進と、(株)よしもとクリエイ ティブ・エージェンシーの執行役員として、デジタルプロモー ションを担当する。

司会進行: ASPIRE SOKA 代表

(創価大学法学部 法律学科4年)

多くの部分で重なる創価大学の 取り組みとSDGsの目標

古賀 本日は、SDGsをどう捉えるか、SDGs にどう取り組んでいくかを、創価大学学長 の馬場善久教授と、(株)よしもとクリエイ ティブ・エージェンシー執行役員であり、 SDGsの取り組み推進担当でもある生沼教 行さんから、お話を伺います。

まず、国連でこの採択がされたことに対 する思いや、SDGsに取り組むきっかけなど を教えてください。

馬場 国連が、2015年にSDGsを提言した ことは素晴らしいことだと思います。

創価大学では、開学以来「創造的人間の 育成 |を掲げています。これは、ごく簡単に 言いますと「社会貢献を目指す学生の育 成」ということです。

創立者池田大作先生は1996年にコロン ビア大学ティーチャーズ・カレッジで「『地球 市民』教育への一考察」という講演をされま した。この講演で、私たちが取り組んでいく べき4つの問題として「平和」「環境」「開発」 「人権」を挙げられました。創価大学では、 これまでこの提言に対して学生をはじめ 様々な取り組みを実施してきました。

これらの取り組みとSDGsとは、かなりの 部分で重なるところが多いですね。

古賀 私自身も、授業を通じて「創造的人 間とは何か」ということを学び、未来のこと を前向きに、自分のこととして考えるきっか けになりました。学長は、創造的人間とは、 どういう人間のことだとお考えですか。

馬場 学生一人ひとりには個性があり、そ れぞれ目標も異なることでしょう。しかし、

各人の現状の中で将来を見据えて、自分が 社会でどのような貢献ができるかと考えな がら、一つ一つの課題に取り組んでいる学 生の姿こそ、創造的な人間につながってい くと思います。

古賀 私も、そうした創造的な人間にな りたいと思っています。さて、吉本興業が SDGsに取り組むようになったきっかけを教 えてください。

問題のある現場にこそ必要な 笑顔を提供する

生沼 国連でSDGsが採択された2015年 に、私たちは、SDGsのことも、その前身に あったMDGsの存在も、知りませんでした。

吉本興業が、SDGsに取り組むことになっ たのは、国連広報センター所長の根本か おるさんからお声かけをいただいたのが きっかけです。

根本さんは、弊社が法務省と取り組ませ ていただいた「社会を明るくする運動」の PRを、所属芸人である鉄拳がパラパラ漫 画で制作していたのをご存じで、普段、そう いった活動に目を向けてくださらなかった 方々にも、興味を持っていただく方法として 「笑い」は非常に親和性が高いと考えてい らっしゃいました。

根本さんは、2016年の年末に吉本興 業へお越しになられ、SDGsを、吉本の「笑 い」の力で、世の中に広めることを一緒に やっていただけませんかとの相談があり、 翌年の1月に、全社員を対象にしたキック オフ講演会を、新宿のルミネtheよしもとと 大阪の漫才劇場への同時中継の形で行

地方事務所向けには限定動画の配信も 行い、まずは社員全員でSDGsについて学 ぶことから始めました。

創価大学が参画している ASPIRE SOKAの活動

古賀 ここで、次の話題に移る前に、私が 所属しているASPIRE SOKA(アスパイア・ 創価)の活動を紹介させてください。

UNAI(国連アカデミックインパクト)と いう、世界の高等教育機関の連携を推進 する国際的なプロジェクトの一環として、 ASPIREという学生組織が世界各地にあり ます。創価大学が、2014年2月にUNAIに 参画したことで、ASPIRE SOKA発足に至り ました。

ここでは「私たち一人ひとりの意識が世 界を変える」という思いをもって、学生主催 の『Global Citizenship Week 2018』とい うSDGsに関する展示や講演会を行ったり、 『難民映画祭』を開催したりしています。ま た、海外のASPIRE組織との交流も行って おりSDGsの意識向上に努めていきたいと 思っています。

では、次にSDGsに関する思いや実際の 取り組みについて教えてください。

早くから平和に関する教育 世界市民教育の共通科目も設置

馬場 古賀さんは、GCPに入っていますよ ね。GCPとは、Global Citizenship Program (グローバル・シチズンシップ・プログラ ム)の略で、学部を横断する形で1学年に つき30人ほどの学生を選抜し、英語や統 計学などの数量的な学問を鍛え、さらに実 際の社会問題を考察するプログラムです。 1年の終わりにはフィールドワークとして2 週間ほどフィリピンに留学します。

2010年から始まったプログラムですが、 これはまさに、世界市民教育の具体的な 取り組みといえるでしょう。そして、これも SDGsとしての教育に重なっているのです。



What's SDGs

Special Feature 2: SDGs Special Interview between Yoshimoto Kogyo Co., Ltd. Corporate Communications Division Producer Takayuki Oinuma, and University President Yoshihisa Baba

本学の平和問題研究所は広島大学等に続いて、本学開学間もない1976年に開設し、平和に関する調査・研究や、授業を行ってきました。さらに、本年度より、カリキュラムを改正し、「平和」「環境」「開発」「人権」などSDGsともつながりが深い分野からなる世界市民教育科目群を設置しました。

学生たちの取り組みでは、長年にわたって発展途上国との交流も深めています。例えば、ケニアのナイロビ大学での研修は約30年前にパン・アフリカン友好会が中心となって開始しました。今年よりザンビアでも研修が実施され、学生は正課外でも多くのことを学んでいます。

また、古賀さんのASPIRE SOKAの説明にありましたが、創価大学が参画したUNAIで掲げている10原則のうち、原則6の「人々の国際市民としての意識を高める」から原則10の「異文化間の対話や相互理解を促進し、不寛容を取り除く」までの5原則を中心に、創価大学として取り組んでいます。

SDGsの目標達成に向けて 国際的な研究も推進

馬場 研究面でも、SDGsの目標達成に資するプロジェクトを進めています。

2015年にIST(科学技術振興機構)・IICA

(国際協力機構)によるSATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)の採択を受け、マレーシアで研究機関と共同研究事業を開始しました。このプロジェクトは、熱帯域の水産養殖場で大量に排出されている汚泥から抽出した栄養分を用いて、抗酸化物質などの高価値物質を多く含む微細藻類を生産し、環境保全と貧困の軽減を両立しようというものです。

さらに昨年度には、文部科学省の支援を受け、研究ブランディング事業を立ち上げました。この事業では、エチオピアの湖で過剰繁茂する水草を分解処理し、取り出した栄養分を用いて健康食品となる微細藻類を生産・販売します。このようなビジネスモデルを地域に広めることで、周辺住民の健康改善・貧困の軽減に貢献したいと考えています。

このように、創価大学では、教育面、研究面ともに、SDGsの目標に密接に結びついた取り組みを以前から実施しています。

古賀 普通の授業だけでなく、海外研修 などを通し、さらに活動を広げるきっかけ となっています。私も日本だけでは分から ないことを、たくさん学んできました。

吉本興業ではどのような取り組みがあり ますか。

創価大学では、SDGsの目標に密接に結びついた取り組みを 以前から実施しています。グローバルな環境の中で、これからも SDGsの目標を先導するような人材を輩出していきたいと考えます。



お笑いのコンテンツとSDGsの コラボで認知度を高める

生沼 私が在学中の頃に比べて、創価大学では、新しい取り組みが増えていますね。少し羨ましいです。

電通さんが2018年の4月に発表された「SDGsに関する生活者調査」では、日本国内のSDGsの認知率は14.8%という結果に対して、共感度は73.1%と高い数字が出ており、知った方には関心を持っていただけるというのが現状です。

そのような中で、吉本興業では、SDGsを多くの人に知ってもらうために、私たちが持っている様々な「笑い」のコンテンツをSDGsと組み合わせ、発信していくことを考えました。

最初の取り組みは、昨年の4月に行った『島ぜんぶでおーきな祭』というイベント内での企画です。ここでは、SDGsの各目標のパネルを掲げて、西川きよしや、アジアの現地で実際に活動している「アジア住みます芸人」の方たちが、沿道に駆け付けた約9万人の観客の前でレッドカーペットを歩行し、多くの方にSDGsをPRするとともに、この様子は、海外のメディアにも多数取り上げていただけました。

また、会場を変え、波の上うみそら公園では、『そうだ!どんどんがんばろう!スタンプラリー』(略してSDGsです)という企画を実施いたしました。SDGsの17の目標を、よしもと芸人たちの持ちギャグと絡め17のスタンプにした企画で、会場内で、これらのスタンプを集めると抽選会に参加できるという企画です。この企画には、たくさんのお子さんに参加いただき、SDGsに触れるファーストタッチになったかと思います。

その他にも、SDGsを数え歌のように覚えることができるライトアニメーションムービー『未来人からのメッセージ~世界を変えるための17の目標』を制作し、イベントステージや映画上映前に流しました。

また、展示コンテンツとして、国連さんが 学生を対象に行っている『わたしが見た、持 続可能な開発目標(SDGs)写真展』の受賞 作品と、弊社の各地方や海外に住む芸人達

も新たにSDGsをテーマに撮影した作品を

追加した写真展を那覇市役所とイオンモー ル沖縄ライカムにて開催いたしました。

「島ぜんぶでおーきな祭」の取り組み後も、吉本が運営する大きなイベントでは様々なSDGsのコンテンツを制作し、お客様に楽しんでいただきながらSDGsのことに触れていただけるような機会の創出を行ってまいりました。弊社所属芸人が総勢29名出演し、コンビの枠を越えてSDGsについて真剣に語りあうCM『SDGsを考えはじめた人々』を制作し、吉本の全国の劇場でも上映しております。

他にも、今年の8月に北海道にて行った、「みんわらウィーク」というイベントでは、ウォーキングイベント『SDGsウォーク2018』を実施しました。このイベントは、歩きながらSDGsのチェックポイントをまわり、各ポイントにて自分の関心のあるSDGsの17の目標のバッジを選び、配布されたトートバッグに集めてゴールするというイベントで、弊社所属のアスリートや芸人も含めて、たくさんの方が参加をしてくださいました。

国連の会議でも笑いを国内の自治体とも提携

生沼 また、同じく8月に、ニューヨークの 国連本部にて開催された、「国連広報局/ NGO 会議(UN DPI-NGO Conference)」に も参加し、SDGsに関する吉本興業の取り 組みを発表させていただきました。会議の 場で、『SDGsを考えはじめた人々』を上映 した時は、会場内で大きな笑いが起こり ました。こうした会議で笑いが起こるのは SDGsを多くの人に知ってもらうために、

私たちが持っている様々な「笑い」のコンテンツを SDGsと組み合わせ、発信していくことを考えました。

珍しいそうで、国際会議の場で日本の「笑い」が伝わるという嬉しい経験でした。

- Ada Ale Con-

古賀 海外と国内の両方に目を向けているのですね。

生沼 国内では、ローカルな活動も積極的に取り組んでいます。北海道に下川町という、人口約3,400人、森林面積約9割、高齢化率約39%の高齢過疎化の町があります。

第1回「ジャパンSDGsアワード」にて SDGs推進本部長賞(内閣総理大臣賞)を 受賞した町なんです。吉本興業は下川町 と、SDGsの取り組みにおける包括連携協 定を結び、持続可能な町づくりを目指し、 今後は様々な連携を行ってまいります。

先程も申し上げましたが、SDGsの認知率はまだまだ高いとはいえません。さらにSDGsを広く知ってもらうためのアイデアを、これからも吉本興業は、様々な方々と一緒に考えていきたいと思っております。

古賀 これからの課題という点では、馬場 学長、いかがでしょうか。

SDGsの目標を先導するような 人材を輩出していきたい

馬場 生沼さんから、SDGsの認知率がまだ高くないというお話しがありましたが、学生の間でも、よく知っている人もいれば、そうでない人もいます。大学の正課、課外活動を通じて、さらに多くの学生にSDGsを知ってもらうことが必要です。そしてこれは、学生時代だけに必要なことではありません。生涯を通じて、自分もよりよく生きると同時



に、他の人もよりよく生きていける社会の構築につながると考えます。同時に、研究の面でもさらに取り組みを進めていきます。

以前、創価大学を訪れた、ケニア出身の ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイ さんが「MOTTAINAI」を提唱しましたが、日 本に古くからある、日常生活の中での節約 の気持ちも大切にしていきたいと思います。

今、創価大学には52カ国・地域から留学生が集まり、学生の9%を占めます。グローバルな環境の中で、さらにSDGsの目標を先導するような人材を輩出していきたいと考えます。

古賀 私も、SDGsを自分の生活の中で実践していけるよう、これからも考えて、行動していきたいと思います。本日はありがとうございました。

07



今回司会進行役をつとめていただいた古賀優奈さん(創価大学法学部4年)は、国連アカデミックインパクトに参加する大学の学生団体であるASPIRE SOKAの代表として、SDGsに積極的に取り組んでいます。



Section 1

悲鳴をあげる地球を救え

SDGsの達成が求められる背景の1つには「プラネタリー・バウンダリー」という概念があります。これは、ストックホルム・レジリエンス・センターの所長ならびにストックホルム大学教授のヨハン・ロックストローム

氏らにより研究・提唱されたもので、研究成果は2009年に雑誌「Nature」に発表されています。

気候変動など「人間が安全に活動できる範囲内にとどまれば、人間社会は発展し繁栄できるが、境界を越えることがあれば、人間が依存する自然資源に対して回

復不可能な変化が引き起こされる」とされ「地球の限界」とも呼ばれてい

ます。このセクションでは、それらの課題解決に向けて、創価大学の研究室で実施されている取り組みの一例を紹介していきます。



森林破壊と 生物多様性の喪失

国連食糧農業機関(FAO)によると、「世界の森林面積は過去25カ年間に41億haから40億ha弱へと3.1%減少」したことが世界森林資源評価(FRA)2015にて報告されている。特に2000年から2010年にかけては、年平均1,300万haの森林が消失したとされ、南アメリカの熱帯林などが著しく減少している。森林破壊の主な原因としては、商業用の木材としての伐採である。これらの熱帯林には、たくさんの種類の植物が生育しており、それらを餌または住みかとする動物も生育している。森林伐採が進むことにより、これらの動植物が生育していく場所が奪われてしまうため、生物多様性が失われてしまう。これらの熱帯林において、毎日約100種が消失しているとも言われている。

海洋汚染と資源の乱獲

海洋汚染の影響も深刻である。「海の憲法」とも呼ばれる「海洋法に関する国際連合条約(United Nations Convention on the Law of the Sea)」において、「海洋環境の汚染」とは、生物資源および海洋生物に対する害、人の健康に対する危険、海洋活動に対する障害、等と定義されている。工場排水や家庭排水などに含まれる有害物質が海洋に流れ込むことによる汚染が原因の一つとしてあげられ、海洋汚染を防止するために「マルポール条約」、「ロンドン条約」などの国際条約が締結されている。また、大気中のCO2(二酸化炭素)濃度の増

加に伴い海洋に溶け込む CO2量が増加するため、海洋が酸性化してきており、海洋生物への影響も懸念されている。さらに、海洋資源である魚介類の乱獲によって、海洋の生態系のバランスが崩れつつある。



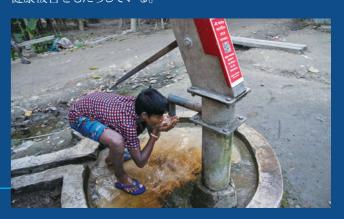
グリーンランド・南極の 氷が解け海面上昇

本年夏、日本各地で連日の猛暑となり、観測史上最高の気温を記録した地域もあったことは記憶に新しい。地球温暖化の影響は、「暑さ」という直接的な影響だけでなく、海面の上昇にも影響を及ぼしている。温暖化によって海洋上に浮かんでいる海氷が解けたとしても、海面上昇に大きな影響はないが、南極大陸やグリーンランドなどの氷床が解け、海洋に流れ込むと海面が上昇する。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書によれば、「過去20年にわたり、グリーンランドおよび南極の氷床の質量は減少しており、氷河はほぼ世界中で縮小し続けている」ことが報告されている。その他、温暖化によって海水の温度が上昇すると、海水の熱膨張が起こる。これによって海面の上昇が発生することも指摘されている。



深刻なバングラデシュの水質汚染

バングラデシュでは、飲料水に含まれるヒ素による水質汚染が問題となっている。1970年代頃から、清潔な水を供給するため、バングラデシュでは国内の多くの地域において井戸を掘る事業に着手した。その結果、大勢の国民が清潔な水を享受することができるようになった。しかし、1990年代に入って、土中に含まれるヒ素が、地中をつたって井戸の地下水に混入されていることが判明した。世界保健機構(WHO)では、安全な水質基準値として、1リットル当たりに含まれるヒ素が0.01mg未満であると定めているが、バングラデシュの多くの地域では、この基準値を上回るヒ素が検出されている。この飲料水に含まれるヒ素が体内に蓄積されることにより、数々の健康被害をもたらしている。



地球の生命力を 科学技術からのアプローチ

ここで紹介した事象だけでなく、地球では現在、様々な変化が起きており、それらは相互に密接に関連している。「プラネタリー・バウンダリー(地球の限界)」は、以下の9つの変化を人間が引き起こすことによってもたらされているとされている。すなわち、*①生物圏の一体化(生態系と生物多様性の破壊)、②気候変動、③海洋酸性化、④土地利用変化、⑤持続可能でない淡水利用、⑥生物地球化学的循環の妨げ(窒素とリンの生物圏への流入)、⑦大気エアロゾルの変化、⑧新規化学物質による汚染、⑨成層圏オゾンの破壊の9つである。この9つの変化が、境界(限界)を越えることがなければ、人間の生活が脅かされることはなくなると考えられ、その境界を越えないようにするための取り組み、ロードマップがすなわちSDGsである。

※一部引用「環境省 平成29年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」より https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h29/html/hj17010101.html

> 次へーンでは、 創価大学各研究室の具体的な取り組みを 紹介していきます

> > 09



法学部 宮﨑 淳 教授

専門分野 民法、水法 研究テーマ

- 1 水法の総合的研究――水資源の保全と 利用の法理論の構築
- 2. 民法の基礎理論に関する研究

水資源の持続可能な利用と保全に関する法理論の研究 ―「水を使って守る」ルールを考える―

「水を使って守る」ルールを研究しています。生態系を破壊することなく人間が 世代を超えて文化的な生活を維持するためには、どのような水のシステムが必 要でしょうか? この観点からSDGsをみると、17の目標が水というキーワードでつ ながっていることが分かります。例えば、水道インフラが整備されていないアフリ 力では、飲用水を確保するために子どもや女性が平均5時間かけて水汲みをし ています。安全な井戸水に容易にアクセスできれば、この時間を教育にあてられ ます。SDGsの目標6「安全な水」は、目標4「質の高い教育」と目標5「ジェンダーの 平等」に関連しているのです。SDGsの共通項の発見は、問題解決の糸口を与え てくれます。皆さんも身近な水問題を見つけて、解決策を考えてみてはいかがで しょうか?それが世界の問題につながっていることを実感できると思います。

Section 1

ベトナムにおけるグリーン経済および気候変動対策の研究

SDGsを達成するには、政府や企業のみならず、すべての人たちの努力と行動が必 要です。私が教える「世界経済」の授業では、「持続可能な経済を目指して」との副題 のもと、持続可能な開発とは何かを考え、特に気候変動については、その原因や状 況について科学的な知識を得ると同時に、政府の政策がどうあるべきか、どのよう な経済社会システムへの転換が必要なのかを皆で議論しています。さらに、私たち が日々、取れる行動は何かを考え、個人の行動を促す工夫をしています。また、私自 身の研究では、現在、ベトナムにおけるグリーン経済の進展度を検証しつつ、気候 変動による影響にどのように適応していくべきかの調査を進めています。気候変動 の影響は、どの国でもすでに起きていますが、特に途上国にとっては、その影響をい かに最小限にし、または適応しつつ、持続可能な形で開発できるかが、今後の大き な課題になってきており、そのアプローチについて研究を続けています。



経済学部 掛川 三千代 准教授

専門分野 環境政策、環境管理、環境経 研究テーマ メコン地域諸国における環

境政策と遵守強化の為の手段、気候変動





桑原 ビクター 伸一 教授

専門分野 海洋光学、生物海洋学、環境科学、 研究テーマ 海洋生態系における光学様相



沿岸域の海洋生態系の実態を調査

主に沿岸域の海洋における海中の植物プランクトン濃度など、海洋の実態を調 べる研究をしています。SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」では海洋汚染の 予防や、海洋資源の持続可能な利用などを掲げていますが、未来のためにどの ような対策をとるべきか。これを知るうえでは、現在がどのような状態であるの かを理解することが重要であると考えています。その基準を調べるために、 JAXAと共同で、気候変動観測衛星「しきさい」(GCOM-C)による海洋の観測な ども行っています。地球の表面積の約7割は海洋が占めているといわれていま すが、広い海洋をくまなく現地調査をすることは、とても時間がかかります。しか し、衛星を使うことにより、広範囲をまとめて観測することができます。この結果 をもとに、海の豊かさを守るための取り組みに貢献していきたいと思います。

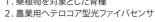
生物多様性と自然環境保全のために

日頃、桑植物の育種を通して新たな品種の開発や、農業用へテロコア型光ファイ バセンサを用いた環境測定に取り組んでいます。2017年12月に八王子市学園 都市センターで行われた「第9回大学コンソーシアム八王子学生発表会」では、研 究室の学生が「桑の実野生酵母を用いた桑ワインの醸造」の演題で優秀賞、「水 耕栽培による低カリウム野菜の開発」が準優秀賞を受賞しました。大学での学び を企業・行政と協働し具体的なアクションにつなげたいと思います。また、自然環 境保全の取り組みとして、本学の緑豊かなキャンパスに生息する植物や生態系を 紹介する「キャンパスエコツアー」を開催しています。大学内の約400の植物に名 前とその特徴が分かる二次元コード付きのパネルも設置しました。まずは、身近な 自然を知ることから、自然を守ろう、大切にしようという心が育まれると考えます。



理工学部 久米川 宣一 講師 Norikazu Kumekawa 専門分野 育種学

1. 桑植物を対象とした育種





Section 2

一人ももれなく豊かに 生きていくために

私たちが暮らす社会。

そこには、誰もが直面しうる様々な課題が常に横たわっています。 より良い社会のために、今私たちにできることとは。

— 創価大学・創価女子短期大学では、実社会の課題解決に向けて、 多くの研究や学生の課外活動などが行われています。 その一部を紹介します。







Section 2

編集スタッフが取材



経済学部 高木 功 教授

高木教授は、開発経済学を専門とされてお り、貧困地域の実態を明らかにし、そこで の人々の暮らしをどのようにすれば良くし ていけるかを研究されています。1997年 に起きたアジア通貨危機を目の当たりに し、貧困地域に生きる人々の生活をいか に良くしていけるか、また、Human wellbeingの研究に力を入れてきました。学部の 「開発と貧困の経済学」という授業の中で、 貧困地域の問題を解決するための方途を 学生と一緒に考え、取り組まれています。





教職大学院 長島 明純 教授

長島教授は、小学校での23年間の教職 経験やスクールカウンセラーとしての経 験を生かし、子どもたちの諸課題を克服 するための方途を、心理治療的な側面か ら実践的に研究しています。「信頼関係が つくりにくい被虐待児へのかかわり」につ いて、現場経験や研究内容を授業やゼミ 活動を通して、未来の教育者である学生 に環元しています。





法学部 中山 賢司 准教授

中山准教授は、衆議院事務局で法案策定 に関わってきた実務家であると同時に、 東アジア地域主義に関する分野で博士号 を取得された研究者です。現場や地域の 人びとの視点を重視され、おもにフィール ドワークを通じた研究に力を入れてきま した。担当する法学部の授業「まちづくり 八王子」も、地域の課題解決に向けて取り 組むフィールドワーク科目です。本学は、 2015年に八王子市と「包括連携に関する 協定」を締結しました。八王子市と本学と

の連携科目の一つとして、子育て支援、高 齢者の社会参加、環境問題などの政策課 題を学生と一緒に考えています。





学生団体 **TFT-SOKA**

TFT-SOKAはTFTプログラムを通じて開発 途上国の子どもに学校給食を届け、創大 生の健康増進のために活動し、今年で10 年目を迎えます。TFTプログラムとは、メ ニュー1食につきアフリカの給食1食分に 相当する20円がTABLE FOR TWOという 団体を通して開発途上国に寄付金として 届くものです。この仕組みをニューロワー ル1階に採り入れ、毎週木、金曜日に自分 たちで考案した旬な食材を活用したヘル シーでおいしいメニューを提供していま

す。昨年は3.117食分(アフリカの給食で 換算した場合)を届けました。





看護学部 鈴木 智子 助教

鈴木助教の専門は老年看護学で、認知症 看護の認定看護師として認知症対応力向 上研修の講師も務めています。本学赴任 前には埼玉県内の病院で、認知症患者や その家族の相談、地域で認知症セミナー を開催していました。認知症の初期段階 は、本人や家族も対応の仕方が分かりに くいため、症状やその対応について積極 的に情報発信し、地域や病院の連携を推 進してこられました。現場で体験し、学んだ ことを授業を通じて学生に伝えています。





学校法人創価大学 つばさ保育所

2014年4月に、本学の「創価大学男女共 同参画推進センター」が開設されました。 女性教員・女性研究者の支援や育成を行 うことを目的としており、具体的には出産 や子育てなどのライフイベントと教育・研 究活動を両立していくことのできる環境整 備に取り組んでいます。その取り組みの一 環として、八王子市内の高等教育機関とし ては初めてとなる事業所内保育所「つば さ保育所」を、2016年9月にキャンパス内 に開所しました。毎年子育て中の教職員 が積極的に利用しており、ワーク・ライフ・ バランスの実現に貢献しています。



13





創価大学キャンパス 再生可能エネルギーの 活用、削減

中央教育棟の東棟と西棟の屋上に、 2014年2月、本学で最大規模の発電設備 となる太陽光発電システムを設置しまし た。電気の最大出力は「99kW」で、同建 物の空調や照明の電力として使用してい ます。東棟・西棟にそれぞれ208枚ずつ計 416枚の結晶シリコン製のパネルを設置 し、年間約30トンのCO。削減効果が見込 まれます。同建物の地下1階の学生ラウン ジ「プラット」の壁面には、太陽光発電の 特徴やその日の発電量CO。排出量などが

分かるモニターを設置。2010年1月に大教 室棟で「30kW」、2013年2月に看護学部棟 で「37kW」の太陽光発電設備を設置しま

また、近接階への階段の積極利用を促 す「2UP3DOWN」の合言葉掲示、照明の LED化・間引き対応、トイレの便座を利用 しない時はフタを閉めるように呼びかけ るなど、エネルギー削減に向けて地道な 取り組みを積み重ねています。



通信教育部 オンライン コンテンツの充実

経済学部・法学部・教育学部の通信教育 課程では、2019年度に1年次で入学した 方より、卒業に必要なスクーリングの単位 をインターネット上で学ぶ「メディア授業 (オンデマンド) |で修得できるようになりま す。2019年度より「メディア授業(オンデマ ンド)」の開講科目を毎年増設し、教室で直 接学べるスクーリングと併せて、より多くの 方に学びの機会を提供できるように学修 環境を充実させていきます。「メディア授業 (オンデマンド) では、講義や教員への質 問、試験まですべてインターネット上で実 施することができ、メディア授業単位として 認定されます。さらに、2018年4月に新た に設置された文学部の通信教育課程で は、本年9月18日から10月23日まで、 IMOOC(日本オープンオンライン教育 推進協議会)の公認プラットフォーム 「OpenLearning,Japan」にて、「世界文学 への招待」と題した講座を開講しておりま す。この講座は無料で、インターネットを 通じて誰でも受講することができます。





Section 3

授業でもSDGs にアプローチ!

ここでは創価大学・創価女子短期大学の授業やゼミ、クラブ活動等の中からSDGsとリンクするものをピックアップ! 日頃の勉強や身近な学生生活でも、様々な視点から「持続可能な世界の実現」に向けて取り組んでいます。







「人間主義経営演習」

平均寿命の伸長やAI技術の進歩などに伴い、私たちの働き 方は大きく変化しています。働き方や働きがいを大切にする 企業がより求められるようになりました。「人間主義経営演 習」では、創価大学が目指す人間主義に基づく経営につい て思索し、実践するリーダーの輩出を目指して、受講生それ ぞれの判断基準を養います。具体的に本学卒業生や教員が オムニバス形式で講義し、それをふまえ学生がグループごと にビジネスの課題を取り上げ、人間主義の観点からどう解決 すべきかについてリサーチを行うなどしています。授業を担 当する志村准教授は「外部講師による講義、また、創立者が 掲げる人間主義経営とSDGsの取り組みについて学生自ら が考え、グループワーク形式のプレゼンを行うことで、人間 力形成に役立つ授業として設計しています」と語ります。

国際教養学部 オズターク研究室

組織における最適な意思決定の手法を研究する国際教養学部のオ

問。学んだ理論が実際の企



「環境材料科学」

この授業では、環境問題解決に寄与できる、いわゆる「環境 調和材料」と呼ばれるものについて、その仕組みや応用例な どを学びます。具体的には、環境触媒、太陽電池、燃料電池と いった大気・水汚染の軽減に直接貢献する材料や、低環境 負荷な材料合成プロセスについて、講義やディスカッション を通して学び、最後は受講生自身が、最近開発された新しい 材料やホットな材料を探してきてプレゼンします。様々な分 野の学生が授業を受講するので、学生同士の質疑応答が白 熱し、時には新しい材料開発のアイデアが生まれることも。 授業担当の井田教授は「SDGsの目標9の達成には、環境材 料と呼ばれる環境負荷低減に貢献する材料の開発が不可欠 です。青色LED開発が良い例ですが、革新的材料の開発は 社会を変革するイノベーションとなります」と説明します。

チーム SOBITS

本年5月、岐阜県大垣市で開



Transnational Migration

グローバル化の進展に伴い、国境を越えた人口移動が活 発になる今日、移民の存在はより重要になっています。国 際教養学部の「Transnational Migration」ではアジア、欧 州、アメリカ、アフリカ等における移民の状況について社会 学や人類学など複数の学術的観点から分析を行います。 受講生はディスカッションやリサーチなどを通して、国境を 越えて発生する移民問題に関する複合的な視野を養うこと ができます。授業を担当しているズルエタ准教授は「受講 生同士のディスカッションやフィールド・トリップ、外部講師 による講義を受講することで、『人が移動すること』とSDGs の取り組みの意義をより深く洞察でき、移民という社会現 象への理解と他者への理解を深める授業を行っています」 と話しています。

学生有志グループ 留トモ

「留トモ」とは、来日間もない留 学生をサポートする本学学生の 企画などを行っています。



法学部 「環境法」

法学部の「環境法」では、公害・環境問題をはじめ、廃棄物・ リサイクルに関する法政策、地球温暖化と環境規制等を取り 上げ、循環型社会における持続可能な社会の構築を目指 し、人間社会と環境のあるべき関係性を学びます。身近な地 域と企業、自治体や国家等の相互関連を考慮しつつ、地域 および地球レベルにおける環境問題の解決に向けて、環境 法規および環境マネジメント手法の知識等を修得します。授 業を担当する朝賀教授は「循環型社会の創出には、限りある 天然資源の消費を抑制し、できる限り環境への負荷を低減 しなければなりません。持続可能な社会を構築するために、 国、地方公共団体、事業者および国民のいずれも責任をもっ て、主体的に行動することが求められています」と説明して います。

創価女子短大ボランティア部

創価女子短大ボランティア部で



Special Feature 4: SDGs in our Everyday Lives

ちょっとした 気づきが嬉しい

Enjoy SDGs Life!

「何をしたらいいの?」「SDGsの実践は難しそう」と思っている皆さん! SDGsの実践は、身近なことからできるんです! このコーナーでは、 日常の生活に焦点を当てて、SDGsの実践とポイントを紹介します!



経済学科4年 田口 敏広さん



法律学科4年 立野 未奈子さん

晴れた日の朝は自転車で通学して います。CO2の排出がないから、環 境に優しいのはもちろん、毎日の 良い運動にもなっています。

SDGs Point



1km移動する際の1人当たりのCO₂排出 量は、自家用乗用車だと141g/km。これ は、鉄道やバス、航空に比べ最も多い排 出量です。自転車はゼロ。また、自転車 通勤をしている人は、車やバスなどの移 動手段を使う人よりも、死亡リスクが 41%も減少するとのデータも。



少し距離のある移動には バスや鉄道の公共交通機 関を使っています。カバ ンには Myボトルを入れ て、気持ちよく1日をス

SDGs Point



WATER

バスは自家用乗用車に比べ一人当たりの ように、節水を心がけていま CO₂排出量が約半分!公共交通機関の利 す。 ハミガキをするときはコッ 用で地球に優しい移動ができます。My プを使う、シャワーはこまめに ボトルを利用することで飲み終わったあ 止める、お風呂の残り湯を洗 とのペットボトルや紙パックのゴミを出し 濯や掃除に活用するなど、少 ません。また、その都度買うより節約にな しの工夫で節水できます。





地球上に存在する水の量は、およそ 14億k㎡。そのうちすぐに使える水は なんと0.01%にすぎません。ハミガ キのときに30秒間水を出しつぱなし にすると、約6ℓ使っています。これ を、コップを使うだけで約5ℓの節水 になり、毎月約220円の節約になり ます(東京都の場合)。





日本の食料廃棄は、「食べられ る状態」で廃棄されている量が 全体の1/3に達しています。自宅 のキッチンで防ごう、食料廃棄!

SDGs Point マイ箸の文化が浸透し、仮に割り箸の使用 がなくなると、標準的な2階建木造住宅で、 年間約2万棟分にあたる木材量を削減する こともできるんです!マイ箸を携帯して、みん

なでお洒落に"エコ活"しませんか!?

一人暮らしだと食材が余ること、よくありませんか? どうせなら多 めに料理を作って、お昼のお弁当にすれば、フードロスを防げます。 お気に入りのランチボックスに詰め込んで、いつでもどこでもピク ニック気分!残り物の詰め合わせだと知っているのは自分だけ。



アジアを中心に、箸を使う文化 は広く定着していますが、お箸 だけで食事を取るのは日本だ けと知っていましたか?和食の マナーは「箸で始まり、箸で終 わる」と言われるぐらいお箸は 私たちの生活に深く根付いてい ます。お洒落な「マイ箸」を持ち 歩くユーザーが増えています。

What's SDGs

CIRCULATOR

暑い時期、寒い時期ともに欠かすことのできない エアコンの使用ですが、サーキュレーターを活用す ることで、空気が循環し、節電にもつながり、非常 に効果的。勉強にも集中できます!

SDGs Point



サーキュレーターを使用し空気を循環させること で、12時間×1カ月(30日)使用した場合に、計 1,000円節約できるとの試算があります。仮に、年 間通して冷暖房を使用する時期が約6カ月で計算 すると、年間6,000円も節約できる!?



ECO BAG

日本では1年間で、レジ袋が300億 枚使用されていると推計されていま す。一人当たりに換算すると約300 枚。小さなお菓子を買うときにレジ 袋を断るのもエコ。エコバッグがな ければレジ袋の使い回しもOK! あ なたは年間何枚使用していますか?

SDGs Point



レジ袋を1枚製造するために使用さ れる石油量は20ml。製造の過程で は多くのCO2が排出されます。エコ バッグユーザーで環境にも財布に も優しい人に。

今回ナビゲートしてくれたのは

ASPIRE SOKA のみなさん

私たちは、教育を通じて国際社会にポジ ティブな変革をもたらすことを目標に、国 連のパートナーとして学内に留まらず様々 な活動をしています。これからも「一人ひ とりの意識が世界を変える!」との想い で、創大生の世界市民への歩みをリード



17

創大の 学問 探訪



持続可能な社会をつくる研究に、創価大学の持つ総合性が活きる

「環境問題はいろいろな分野の専門家が連携しなければ解決に向かいません」

"Environmental problems cannot be solved without close collaboration of specialists from diverse fields"

海と生き物と環境の相互の影響や変化を研究 東京大学時代から続けているテーマを本学でも

古谷教授は、2017年3月まで東京大学で農学生命 科学研究科教授として、また、同大の理事・副学長とし て活躍されていました。そして、同年4月からは、創価大 学の大学院工学研究科で環境共生工学専攻の教授に 就任しています。

東京大学在籍時から「生物海洋学」という分野を専 門にしています。この学問分野は、生物にかかわる海 洋学的な現象全般を対象としています。

「海の生態系は、地球の環境が変わるとどうなるの か、という大きな研究課題があります。ここには、漁業資 源の持続的な利用というような私たちの日常的な関心 事も含まれていますが、食料生産だけではなく、海では 様々な物質が循環しており、その物質循環がどのような 影響を受けるのかが大きな問題となっています。仏教 でいうところの輪廻になぞらえる研究者もいます。物質 循環がどこかで滞ると、食物連鎖の上位の生物が餌不 足になるなど、その影響は生態系全体におよびますし。

創価大学プランクトン工学研究開発センター長に就任 学長のイニシアチブで全学的な取り組みに位置づけ

創価大学は今年の5月、学長の主導のもとに「創価 大学プランクトン工学研究開発センター」を立ち上げ ました。主な目的は、持続可能な社会の構築に向けて、 プランクトンが持っている機能を上手に社会の中に組 み込むための研究・開発をすることです。古谷教授は、 立ち上げと同時にセンター長に就任しています。

「創価大学が持つ総合大学としての強みを、ここで 活かすことができます。環境問題も食料問題も、理工系 の分野だけではなく、社会科学系、人文科学系も含め た異分野の研究者たちが連携することで、解決に向か うと考えています。これは、私がかつてある大型の研究 プロジェクトでリーダーを務めた経験から学びました。 創価大学は、まさにそうした条件が整っています。もと

もと、工学研究科長の戸田龍樹教授の専門 分野でもありますし、学長のイニシアチブに よって、全学的な取り組みに位置づけられ ていることは、心強いです」。

日本学術会議のメンバーとしても議論を重ね 21世紀の新しい科学の在り方を考える

現在、古谷教授は、内閣府が所管する日本の科学 者を代表する学術団体である日本学術会議のメン バーでもあります。ここで食料科学委員会水産学分 科会の委員長として、提言をまとめています。

日本学術会議でも、創価大学でも、今SDGsが大き く取り上げられていますが、古谷教授の研究テーマ は、まさにこの国連の主導による「持続可能な開発 目標」にぴったりです。

一方で、大学院の教員として、若い世代にも期待 をしています。

「今、修士課程が始まったばかりの女性2人をみ ています。2人とも、海の植物プランクトンに関する 研究をしていますが、とても熱心に取り組んでいま す。教員という立場ですが、研究者としては大学院 生の諸君と私とは対等だと考えています。彼女たち の研究が進むにつれて、自分たちの研究テーマばか りでなく、関連する分野など外の世界への好奇心が 向いていくだろうと期待しています」。



の環境を測定するセン サーと採水器(円筒状の もの)を組み合わせた測 器の調整をしているとこ ろ。海洋観測では研究者 がこのように協力し合う

[FILE]

古谷 研 教授



「海洋保全生態学」 **講談社刊(2012)**

Profile 古谷 研

1975年東京大学理学部生物学科卒業、1981年東京大学大学院農学 系研究科水産学専門課程博士課程修了、1981年農学博士、1999年~ 2017年東京大学大学院農学生命科学研究科教授、2013年~2015年 東京大学大学院農学生命科学研究科·農学部研究科長·学部長, 2015 年4月~2017年3月東京大学理事·副学長、2017年4月~創価大学大 学院工学研究科教授、2018年5月~創価大学プランクトン工学研究開 発センター長。日本学術会議会員・同食料科学委員会24期水産学分科 会委員長。2014年4月日本海洋学会「日本海洋学会賞」、2018年8月 「第11回海洋立国推進功労者表彰(内閣総理大臣賞)」受賞。

箱根駅伝2019 學職人!

再びの箱根路を目指して

昨年はたくさんの応援をいただくなか本選出場はなりませんでしたが、 今年はさらにパワーアップしたチームで本選出場を目指します!

距離 ▶ ハーフマラソン(21.0975km)

結果発表 ▶ レース終了後、昭和記念公園内で発表

アクセス(最寄駅)

JR中央線・立川駅/多摩都市モノレール・ 立川北駅/JR青梅線·東中神駅、西立川

本選出場へ!予選会への意気込みを聞きました。



せがみ ゆうぜん 瀬上 雄然 監督

法学部法律学科4年

二宗 広大 選手

夢の舞台へ向けて 予選会でベストな走りを

学生たちにとって夢の舞台であ る箱根駅伝を目指すことは、彼 らの人牛が開けるきっかけにな ります。昨年の悔しさをバネに、 応援してくださる皆様のために も、まずは予選会でのベストな 走りを目指します。

自分の経験を後輩に伝え チームをまとめたい これまで自分が感じてきたこと

や、反省点も含めた経験を後輩 たちに伝えることで、輝くチーム となるように努力しています。 問題点を皆で乗り越えて、応援 してくださる皆様に恩返しをし たいと思います。



く ぼ た みつる **久保田 満** ヘッドコーチ

主務 文学部人間学科4年 石井 幸喜 選手

走りやすい環境をつくり 一丸となって結果を出す

選手の成長ぶりと

豊かな個性を見せたい

技術面だけでなく、日々、選手た

ちの人間的な成長を見ていま

す。創価大の選手は、一人ひとり

が豊かな個性を持っています。

箱根駅伝出場を目指して、その

魅力をぜひ皆さんにもお見せし

たいと思っています。

マネージャーとして、選手の一 人ひとりが自信を持てるように 声をかけ、走りやすい環境づく りを心がけています。創価大は 応援がとても多いので、皆様の ありがたい声に応えるため一丸 となって結果を出します。

18 Soka Univ. News

日時 ▶ 2018年10月13日(土)9:35スタート

会場 ▶ 陸上自衛隊立川駐屯地→立川市街地→国営昭和記念公園

駅/西武拝島線•武蔵砂川駅

キャンパスニュース CAMPUS NEWS

日中国交正常化提言50周年を記念し、 本学で「日中新時代フォーラム」を開催

University holds "Japan-China New Era Forum" to commemorate the 50th anniversary of



本学キャンパスにおいて、9月8日、創立者池田大作先生の日 中国交正常化提言発表50周年、日中平和友好条約締結40周 年を記念する「日中新時代フォーラム」が開催されました。 1968年9月8日、創立者は日本と中国の関係改善を願い、未 来を担う青年に対し、「日中国交正常化提言」を発表しまし た。提言では日中関係の問題を解決するため、①中華人民 共和国を正式に承認し、日中国交正常化を実現すること、② 国連における中華人民共和国の正当な地位を回復するこ と、③日中両国の経済文化交流を推進することの3つを提示 しました。50周年を迎えたこの日、フォーラムには両国から 有識者や研究者が出席し、提言発表の歴史背景や現代的 意義、これからの日中関係のあり方について等、活発な意見 交換が行われました。

午前の開幕式では、本学の馬場善久学長、中国社会科学院 日本研究所の劉玉宏副所長、中華日本学会の高洪常務副 会長が挨拶を。その後、復旦大学の王栄華元党委副書記、 東日本国際大学の西園寺一晃客員教授、北京大学日本研 究センターの賈薫萱教授、本学平和問題研究所の玉井秀 樹教授による4題の基調講演が行われました。

午後には、「政治と外交」「経済と貿易」「社会と文化交流」 の3テーマで分科会が開かれ、両国の研究者らが発表。 その後、中央教育棟ディスカバリーホールで開かれた記念 講演会では、馬場学長の挨拶に続き、創立者からのメッ

セージを田代康則理事長が紹介しました。

元駐中国大使で日中関係学会の宮本雄二会長は「軋む戦 後国際秩序とあるべき日中関係」と題して講演。日中国交正 常化後の1975年に、本学が新中国から最初の国費留学生6 名を受け入れたことへの感謝を述べるとともに、日中両国の 歴史を学ぶことの重要性を述べ、若者を中心に相互交流を 推進していきたいと語りました。

程永華駐日中国大使 は、創価大学留学時の 思い出を振り返りなが ら、国籍や人種を超え た人的交流の重要性に ついて言及。最後に、日 中友好の新時代を開い ていく主役は青年であ ると述べ、①平和と友 好の精神を継承し、② 交流を一段と発展さ せ、③運命を共にする 共同体であるとの意識 を育んでいってほしい と期待を寄せました。



程永華駐日中国大使の講演



日中関係学会の宮本雄二会長の講演

通信教育部「新世紀第18回学光祭 | を開催

Division of Correspondence Education holds the "18th Gakkōsai Festival of the New Century"

通信教育部の夏期スクーリング受講者や卒業牛の代表など 約1,000名が8月21日、中央教育棟ディスカバリーホールに集 まり、伝統の「新世紀第18回(第43回)学光祭」が開催され



ました。学光祭では、映像上映ののち、通信教育部で学び世 界で活躍する現役生代表2名が体験発表を。総合実行委員 長の大池英一さんの挨拶ののち、学生の代表によるパフォー マンスが披露されました。

続いて、田代康則理事長が創立者池田大作先生からのメッ セージを紹介。メッセージの中で創立者は、「一人ももれなく 誉れ高き人間教育の勝利者として、使命と栄光の人生を断固 として飾っていっていただきたい」と、学びの夏への挑戦を称 えられました。最後に馬場善久学長が、「来年の学光祭を目 指し、今日から新たな決意で自分のいる場所で学びの日々を 送ってください」と挨拶しました。

「第45回夏季大学講座」を開催

"45th Summer Public Lecture" held

大学の教育・研究成果を市民の皆様に知っていただき、広く 学習の機会を提供することを目的とした「夏季大学講座」を 8月31日から9月2日の3日間、本学キャンパスで開催しました。 今回で45回目の開催となる本年は3日間で41講座に約8.800 名が全国各地から参加しました。

経済学部・高木功教授の講義では「国連持続可能な開発目 標(SDGs)とBoPビジネスの可能性 | をテーマに本学のSDGs の取り組みや仕事や生活でのSDGsへのかかわりなどについ て紹介。その他、英語・中国語の言語科目の入門講座や、生 活習慣の改善などをテーマにした健康講座、子育て、介護、 教育、科学、文化、歴史など幅広い分野にわたって開講され ました。参加者からも受講の喜びと感動の声が多く寄せら れ、大盛況のなか終了しました。



交換留学生修了式を開催

Completion Ceremony for exchange students

本学で学んだ交換留学生および別科特別履修生・アメリカ 創価大学(SUA)研修生の修了式が7月31日、中央教育棟の ディスカバリーホールで行われました。

はじめに、田代康則理事長が創立者池田大作先生からの メッセージを紹介。創立者は「これからの皆さんの前途には、 使命が深いゆえに、それだけ試練の嵐も、苦難の坂もあるで しょう。しかし、大変であればあるほどその時こそ、このキャン パスで学友とともに培った不屈の負けじ魂を発揮し、忍耐強 く、そして大胆に、勇気あるチャレンジを続けていってくださ い」と呼びかけました。

馬場善久学長より、今回修了を迎えた33カ国・地域86名の留 学生の一人ひとりに修了証書を授与しました。その後、修了生 の代表3名が学んだ日本語で挨拶しました。

その内の一人、ミャンマー・ヤンゴン外国語大学からの交換 て大きく成長することができました」と語りました。



留学生ニン・ウィット・イー・アンさんは、「帰国後も留学を通 して学んだことを生かしたいと思います。一期一会との言葉 がありますが、みんなと過ごした時間は、私にとって宝物で す。これからも出会いの一つ一つを大切にしようと思います。 『私たちはお好み焼きのようですね』と留学生の友だちに言

われたことがあります。それぞれの個性が混じり合い、お好み 焼きに欠かせない卵の役割を国際課の皆さんが担っていま す。学業、生活面と多岐にわたる創価大学のサポートによっ

21

学生の活躍 Student Activity

チアリーディング

本学学生が「第1回世界大学チアリーディング選手権大会」の日本代表に内定

Soka University students selected to represent Japan at the first FISU World University Cheerleading Championships



日本代表に選出された本学学生7名

法学部

本年10月にポーランドで開催される、国際大学スポーツ連盟主催の「第1回世界大学チアリーディング選手権大会」に、本学の学生7名が日本代表として出場することが内定しました。

これは、大学チアリーディング界として初めて開催される世界大会。8部門のうち、「チームパフォーマンス・チア・ヒップホップダブルス」部門で、本学の松尾正樹さん、尾本幸一さんのペアが、「チームパフォーマンス・チア・ヒップホップ」部門に

は、松尾さん、尾本さんとともに、瀬下孝一さん、森愛海さん、桑島温希さん、下川孝二さん、杉山皐月さんを含めたダンスチーム「WORLD WINGS」の大学生17人が、代表に選出されました。

2部門に出場する松尾さんと尾本さんは、「創大生として恥じない、悔いのない演技に努め、皆さんに勇気と希望を届けたいと思います。出場するからには必ず世界一の結果を残し、後輩の道を拓いていきます」と決意を語りました。

「Girls20サミット2018 国際女性会議」に本学学生が4年連続日本代表として選出

Soka University students selected to represent Japan for the fourth straight year at the Girls20 Summit 2018 in Argentina



日本代表で参加する岡部エミリー直美さん

アルゼンチンで本年10月に開催される「Girls20サミット2018 国際女性会議」に、本学学生の岡部エミリー直美さんが日本代表として出席することが決まりました。本学からの選出は4年連続となります。Girls20サミットは、ビル・クリントン元アメリカ大統領が設立した「クリントン・グローバル・イニシアチブ」が立ち上げた国際女性会議で、「2025年までに女性のために新たな仕事を1億人分創出する」という課

題に対する共同声明を作成し、G20の首脳に向けて、提言書を作成することを目的とします。

岡部さんは、「これまで国際学生会議や、インターンシップの参加を通し、女性の権利について考える機会が多くありました。この経験を通して感じた思いを、未来の女性リーダーたちと大いに語り合い、コネクションを広げたいと思います」と語りました。

グローバル

第9回国際学生リーダーシップシンポジウムに本学の学生ら3名が参加しました

Three Soka University Students and Faculty Participated in the 9th International Student Leadership Symposium



リーダーシップシンポジウムに参加した本学学生

タイ・バンコクで8月1日から7日に開催された「第9回国際学生リーダーシップシンポジウム」に経済学部の川合光一さん、大学院法学研究科博士前期課程の小林正紀さん、創価女子短期大学国際ビジネス学科の小林ことみさんが、本学から初参加。Humanitarian Affairs UK とタイ教育省の共催で、「Inspiring Confidence, Inspire Change」のテーマのもと、世界87カ国・地域200以上の大学から1,060名が集い、著名な教育者や支援団体の代表者

の講演会などが行われました。

川合さんは「リーダーシップとは何かを学びました。リーダーシップのある人は自信を持っている人。自信を持っている人とは、ユーモアのセンスがある人、諦めない人、人生の目的を自覚して動く人、すべてに感謝できる人、尊厳をもって周囲とつきあえる人、学び続ける人であるとの話が印象的でした。様々なことに積極的に挑戦し続け、世界に貢献できるよう成長してまいります」と語りました。

経済学部

経済学検定試験(ERE)「大学対抗戦」で本学の経済学部理論同好会が日本一に!

Soka University Economics Theory Association is Number One in Japan in the Economics Record Examination (ERE) University Challenge!



本学の経済学理論同好会のメンバー

本年7月1日に行われた経済学検定試験の第29回「大学対抗戦」で、本学の経済学理論同好会が優勝(6年ぶり12度目)。 本大会は、大学・大学院のゼミ・サークル団体で、1団体5名以上9名以内まで登録がで

位4名の合計点で成績を争う競技で、今回 は9校18チームが参加。経済学部の南優 人さん、大槻正義さん、法城寺光恵さん、 米本圭吾さん、都築光太郎さんの3年生

き、ミクロ経済学とマクロ経済学における上

チームが平均402.5点を獲得しトップに。 米本さんは「1年次から優勝を目標に、 チームー丸となって取り組んできました。 優勝の結果に嬉しく思います」と述べ、法 城寺さんは、「同好会の仲間や先生方、家 族をはじめ、多くの皆さんの支えがあり、 最後まで挑戦を続けることができました」 と語りました。

個人では、ERE全科目受験者121名の中で、南さんが見事1位を獲得しました。

理工学部

世界トップクラスの理系学生が集う「STeLA Leadership Forum 2018」にGCP生が参加

Soka University Global Citizenship Program Student Participated in the "STeLA Leadership Forum 2018," Gathering of World-Class Science Students



右から2番目が樹山さん

STeLA (Science and Technology Leadership Association)は国際的な学生団体で、各国のトップ大学から理系を中心に様々な分野の学生が集まるフォーラムが、8月8日から10日、東京大学で開催され、本学の樹山さくらさん(理工学部2年)が参加しました。

科学技術の次世代リーダーのネットワーク を築くともに、リーダーシップモデルの理 論と実践的なスキルへ昇華させるプログ ラムや、日本における問題を解決するプロ ジェクトがありました。参加者は休憩時間 や食事の時間を共にすることも含め、お互 いの文化だけでなく価値観を共有する機 会となりました。

樹山さんは、「将来のテクノロジーに関する議論だけではなく日々の会話を通じて、考え方や価値観の違いを共有でき、自身の新たな視野を広げることができました。 残りの学生生活で理工学分野の専門性を高めると同時に、留学の必要性を考えるフォーラムになりました」と語りました。

GCP

ハーバード大学主催の国際学生会議である「HPAIR」に本学GCP生2名が参加

Two Soka University Global Citizenship Program Students Participated in the "HPAIR" International Student Conference Hosted by Harvard University



左端が小出さん、右端が松山さん

マレーシア・クアラルンプールで8月16日から20日に開催された、ハーバード大学主催のHPAIR「Harvard Project for Asian and International Relations」に、本学の松山美華さん(法学部2年)と小出学さん(理工学部2年)の2名が参加しました。

27回目となる本年は世界60カ国・地域から大学生、社会人600名が集まり、アジア太平洋の政治・経済・社会問題等についてパネルディスカッションやグループワークを行いました。

松山さんは「私のグループは、マレーシアの 喫煙問題にフォーカスし、電子タバコをどの ように改良したら健康に良い物になるのか を考え、コース内で1位を取りました。今回の HPAIRでの経験を生かして、今後英語力を 向上していきたいです」と語り、小出さんは 「HPAIRでは、多くの参加者が積極的に意見 や考えをお互いに伝え合うことに驚きまし た。自分も専門分野を深く研究しながら、自 身の意見を多くの人に伝えられるように 成長していきます」と語りました。

進学NAVI 開催!

10月下旬から11月上旬にかけて、全国16会場で創価大学・創価女子短大独自の「進学NAVI」(個別相談会)を開催します。進学や入試・受験についてご相談に応じます!対象は受験生・高校生およびその保護者の皆様です。予約不要、時間内随時受付です。

13:30~14:00 高校1·2年生向けの入試ガイダンス 14:00~16:30 個別相談会

●開催日程・会場

日 程		開催都市	会 場
10月20日	±	神戸	JEC 日本研修センター 神戸元町
		高松	サンポートホール高松
		千葉	プレナ幕張 幕張会議室
10月21日		大阪	リファレンス大阪駅前 第4ビル貸会議室
		広島	TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前
		新宿	リロの会議室コンフォート新宿
10月27日	±	旭川	旭川市大雪クリスタルホール
		さいたま	貸会議室 6F
10月28日	8	札幌	TKP札幌ビジネスセンター 赤れんが前
		横浜	TKP ガーデンシティ横浜
		名古屋	イオンコンパス名古屋駅前会議室
11月 3日	±	福岡	カンファレンス ASC
117, 30		金沢	ITビジネスプラザ武蔵
11月 4日	8	那覇	沖縄県市町村自治会館
		新潟	新潟ユニゾンプラザ
		仙台	TKP 仙台西ロビジネスセンター

OPEN CAMPUS

2019年 3月21日 🕏 🕏 10:00~16:00

参加者登録で記念品プレゼント

※創価女子短期大学も同時開催!

2019年度 入学試験日程一覧

創価大学							
	出願期間	試験日	合格発表日				
公募推薦入試 *1 *2	2018年 11月1日(木)~ 11月8日(木) (郵送 締切日消印有効)	2018年 11月17日(土)	2018年 11月28日(水)				
大学入試 センター試験利用 入試 (前期3科目方式)		2019年 1月19日(土)・ 20日(日)* ³	2019年 2月14日(木)				
大学入試 センター試験利用 入試 (前期4科目方式)	2018年						
全学統一入試(3科目方式)	12月20日(木)~ 2019年	2019年 2月3日(日)	2019年				
全学統一入試 (2科目方式)	1月18日(金) (郵送 締切日消印有効)	2H3G(G)	2月14日(木)				
一般入試		2019年 2月7日(木)・ 8日(金)・ 9日(土)	2019年 2月17日(日)				
大学入試 *1 センター試験利用 入試 (後期3科目方式)	2019年 2月22日(金)~ 3月1日(金) (郵送 締切日消印有効)	2019年 1月19日(土)・ 20日(日)※3	2019年 3月11日(月)				

※1学科の併願は不可(専願)。 ※2国際教養学部の公募推薦入試の出願資格・試験科目等は他の学部と異なりますのでご注意ください。※3大学入試センター試験を受験すること。事前に大学入試センター試験の受験申込が必要です。

創価女子短期大学							
	出願期間	試験日	合格発表日				
公募推薦入試	2018年 10月24日(水)~ 11月 2日(金) (郵送 締切日消印有効)	2018年 11月10日(土)	2018年 11月16日(金)				
一般入試	2019年 1月 4日(金)~ 1月18日(金) (郵送 締切日消印有効)	2019年 2月4日(月)	2019年 2月13日(水)				

ネット出願 START!



創価大学は、2019年度入試から、 すべての入試をネット出願にて 受け付けいたします。

創価女子短期大学の願書(入試要項)は ホームページからご請求いただけます。

編集部からのお知らせ

SUN 編集部では、読者の皆様の声を募集しています。これからも、充実した魅力ある誌面づくりに努めてまいりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。



